

ふるさと納税 現地決済型システム (中部電力 ふるさと応援納税)の導入について

本市では、全国よりも多くの皆さんからふるさと納税の寄附をいただき、交流人口や関係人口の増加を図るため、様々な取組を行っています。このたび、二次元コードを使った現地決済型のふるさと納税を導入することとなりました。

◆ふるさと応援納税について

○事業者名 中部電力ミライズコネクト株式会社・株式会社DMCaizu

○システム名 ふるさと応援納税

○サービス形態 二次元コードを使った現地決済型のふるさと納税

○システム概要

- 1 市内の宿泊施設や飲食店、体験施設等に設置した二次元コードからふるさと応援納税専用サイト (<https://miraiz-connect-furusato-ouen.com>) へアクセス ※専用のアプリのダウンロードは不要
- 2 ふるさと応援納税専用サイト上にて登録・寄附の手続き(所要時間は5分程)
- 3 返礼品の電子クーポンが発行される。
- 4 加盟店に設置の決済二次元コード読み込みにて、電子クーポンで支払い

○特徴

- ・二次元コードはあらゆる場所に設置可能なので、汎用性が高く、手軽に寄附ができる。
- ・電子クーポンの金額の範囲内であれば、市内の複数の加盟店で使い回しができる。
- ・初期費用と固定費がかからない。
- ・ウェブサイトを活用しない層へのアプローチが可能
- ・観光客や来訪者を「寄附者」として獲得できる。
- ・送料が不要なので、総務省の基準である「寄附額に対する経費 50%制限」のルールへの対応に適している。

◆導入施設

まずは、鈴鹿サーキット（ホンダモビリティランド株式会社）での導入が決定

※使用できるサービスは以下のとおり。

- ・「鈴鹿サーキットパーク 入園券、パークパスポート(※注1)」
- ・「鈴鹿サーキット 2025 F1 日本グランプリ レースチケットクーポン(※注2)」

◆導入予定施設

順次以下の施設への導入を図る予定

- 宿泊施設
- 飲食店
- ゴルフ場
- 乗馬クラブ

◆寄附受付開始日時 令和6年10月13日（日）9時

◆運用開始日時

- ・鈴鹿サーキット 2025 F1 日本グランプリ レースチケットクーポン
令和6年10月13日（日）11時
- ・鈴鹿サーキットパーク 入園券、パークパスポート
令和6年10月21日（月）10時

◆先行導入自治体（導入決定済自治体も含む）

128自治体（令和6年9月30日現在）

※主に中部電力の電力供給エリアである東海地方が中心

※注1：当日メインゲート、ホテルゲートでの購入時のみ対応可

※注 2：ふるさと応援納税を使用した鈴鹿サーキット 2025 F1 日本グランプリ
レースチケットクーポンについて

【概要】

- ・ 30,000 円分のふるさと応援納税で、2025 F1 日本グランプリのチケット購入に使用できる 9,000 円分の MobilityStation クーポンの取得が可能。

【注意点】

- ・ ふるさと応援納税は「寄附」となる為、寄附の申込み手続きが完了した後に希望のレースチケットが売切れ等で MobilityStation クーポンが使用できなかったとしても、キャンセルは一切できません。
- ・ ふるさと応援納税で取得した MobilityStation クーポンは、クーポンの額面(9,000 円)以下のチケットには使用できません。
- ・ ふるさと応援納税で取得した MobilityStation クーポンは、1 つのチケットに対して、1 つのクーポンのみ使用可能(1 つのチケットに複数のクーポンは使用できません。)
- ・ MobilityStation クーポンを使用したチケットはリセールサービスがご利用できません。

【問い合わせ先】

(ふるさと納税に関すること)

鈴鹿市産業振興部 商業観光政策課

担当 山本・杉立 電話 059-382-9016 (直通)

(チケットの内容に関すること)

ホンダモビリティランド株式会社

鈴鹿サーキット 事業推進部 事業企画課

担当 清野 電話 059-378-1111 (代表)